

大阪府猛暑対策検討会議の設置について

1 趣旨

今夏は記録的な暑さが続き、気象庁の記者会見でも、「命の危険がある暑さで、一つの災害と認識している」との見解が示された。府内においても、大阪市内で猛暑日が 27 日に至り、熱中症で搬送された方は府全体で 7,138 人、亡くなられた方も 12 名に及んでいる（平成 30 年 9 月 30 日現在）。

今年のような猛暑が来年以降も続く可能性があることを想定し、府民の命を最優先で守ることはもとより、今後予定されている多くの国際的なイベントや 2025 年の万博開催も見据え、海外から来阪される多くの観光客にも「大阪は快適だ」と感じていただくため、「大阪府猛暑対策検討会議」を設置して幅広い専門的知見を集約し、実効性のある猛暑対策を検討する。

2 構成

(1) 学識経験者等 ◎座長 (五十音順)

分野	名前	所属
医療（熱中症対策）	井上 芳光	大阪国際大学教授
地球温暖化・エネルギー	下田 吉之	大阪大学大学院教授
建築環境・設備、熱環境	鍋島 美奈子	大阪市立大学大学院准教授
緑化	増田 昇	大阪府立大学特認教授
ヒートアイランド	森山 正和 ◎	神戸大学名誉教授

(2) 関係行政機関

気象庁大阪管区气象台 環境省近畿地方環境事務所
 大阪府 大阪市 堺市
 大阪府市長会 大阪府町村長会

(3) 事務局

環境農林水産部エネルギー政策課

3 スケジュール

平成 30 年度

第 1 回（12 月） 今夏の猛暑分析及び現状の取組み

第 2 回（1 月） 現状の取組みの課題整理

平成 31 年度予定

第 3 回 2019 夏の予報を踏まえた府としての対策

第 4 回 2019 夏の対策の検証

4 主な論点

- ・ 猛暑対策の考え方

- ・ 具体的な猛暑対策

※「まちなかの暑さ対策ガイドライン」（環境省）、「夏の暑さ対策の手引き」（東京都）や 2020 オリンピック・パラリンピックに向けた暑さ対策等を参考に緊急的に実施可能な対策、府民等が取り組みやすい対策や中長期的な対策

- ・ 効果的な普及啓発のあり方